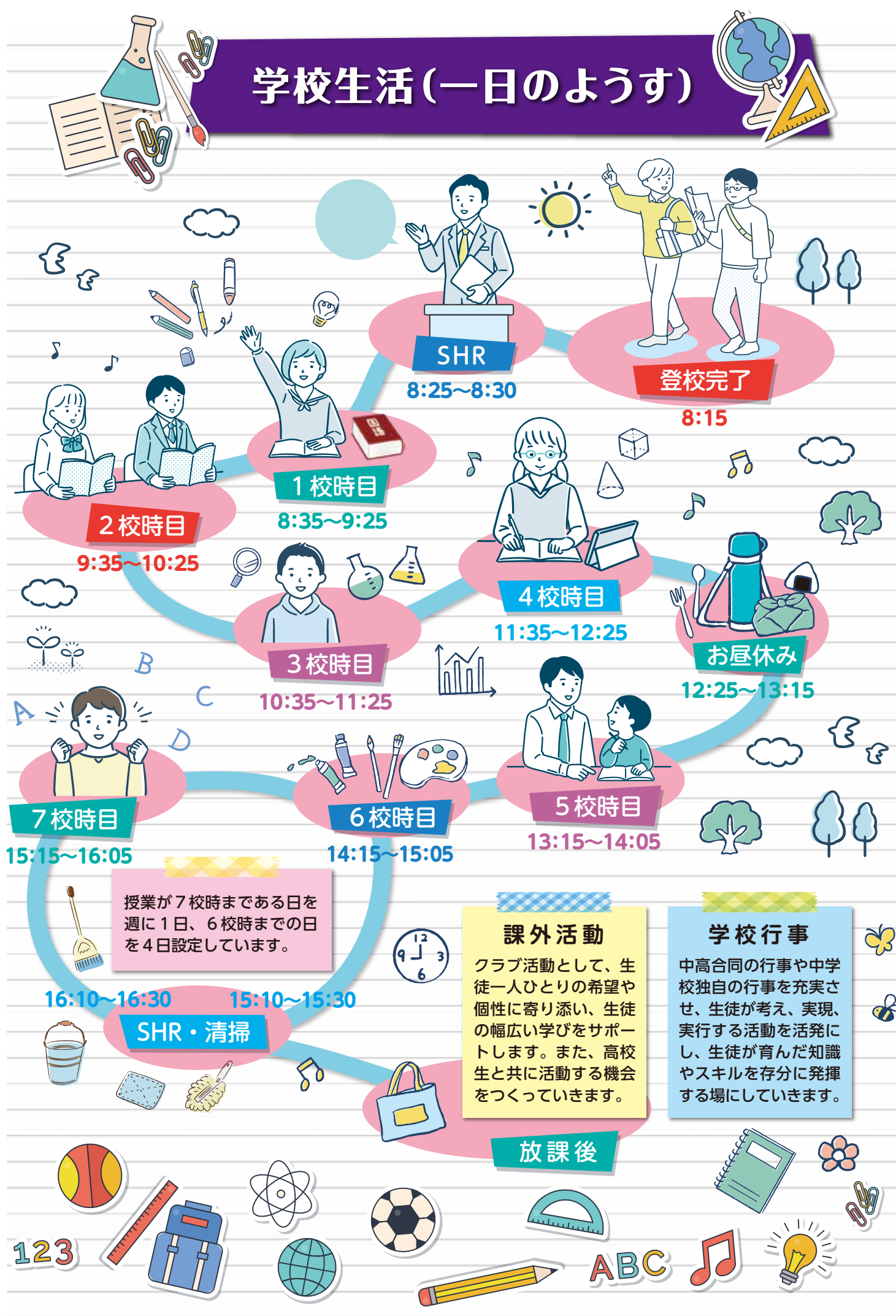


学校生活(一日のようす)



よくあるご質問 Q&A

Q 制服はありますか？

A 制服はありません。安積中生として「学びの場にふさわしい」と「自分らしさ」を両立した品位のある服装選びをしましょう。※儀式的な行事や外部機関での研修の際に着用するブレザーがあります。



Q 部活動はどのようにになりますか？

A 部活動の意義や役割を踏まえ、生徒の自主性、自発的な参加によるクラブ活動を行っています。生徒の多様な興味・関心に基づき探究する中で、自主性、協調性、責任感、連帯感などを培うことを目的としています。クラブ活動は、一般的な部活動でなく中体連には加盟しないことから、学校として各種大会への参加はできません。

Q 指定の通学方法はありますか？

A 特に指定の通学方法ははありません。生徒の自転車の使用は許可制となり、ヘルメットの着用を義務付けます。また、車で送迎の際に学校敷地内への乗り入れができません。6年間の通学方法についてよくお考えください。

Q 給食はありますか？

A 給食はありません。各自お弁当の用意をお願いします。

Q 入学選抜はどのようにになりますか？

A 検査内容は、学習指導要領に即したものにになります。小学校での学びを十分に理解し、大切にしてください。より詳しい選抜方法や出願の手順については、10月に出される「福島県立中学校入学選抜要綱」をご確認ください。

Q 学校生活でかかる費用はどんなものがありますか？

A 授業料はかかりません。他の市町村立中学校と同様に、副教材費や諸経費があります。

Q 悩みを抱える生徒のサポート体制はどのようにになっていますか？

A 学校にはスクールカウンセラーが配置されており、生徒の学習面やメンタル面でのサポートを行います。また、定期的な個別面談を行っています。



入学選抜の流れ

選抜方法

- 適性検査
小学校における教育において身につけた総合的な力をみます。
- 調査書
記載事項から、小学校での学習や生活の状況をみます。(志願者の在籍している小学校の校長が作成します。)
- 面接
志願者の目的意識、意欲や長所等をみます。

主な日程

- 生徒募集要項配付会 10月中旬
- 入学願書等受付 12月上旬
- 適性検査実施日 1月上旬
- 選抜結果発送 1月下旬

※日程に関する詳細情報はホームページで更新

安積高等学校

併設中学校からの進学生徒と市町村立中学校等からの入学生が混在するクラス編成

進学生

相乗効果

入学生

入学選抜なし
入学の意思確認

併設中学校
1学級30名×2
学年計60名

県立中学校
入学選抜

県立高等学校
入学選抜

市町村立中学校
私立中学校等

就学指定等

小 学 校

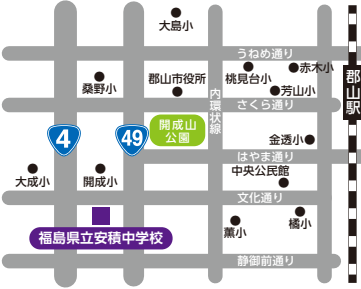
所在地

福島県郡山市開成5丁目25-63
福島県立安積高等学校敷地内

アクセス

<郡山駅⇄安積高校>

- ・自転車で約30分
- ・路線バスで約15分



お問い合わせ

福島県立安積中学校

TEL：024-922-4310 (代)
<https://kenritsu-asaka-j.fcs.ed.jp/>



県立安積中HP

学校案内 SCHOOL GUIDE



継往開来

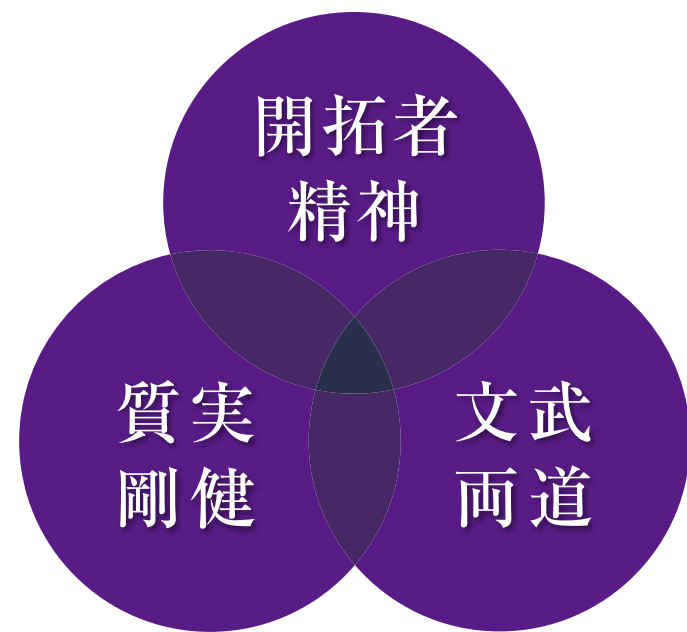
受け継ぎ 切り拓く



福島県立安積中学校

中高一貫教育スローガン 『未来を描き、未来を創る開拓者』

安積の精神



高い志を掲げ
知性を磨き続ける
学校を目指して

安積中高を支える3つの学び

世界志向の学び

トップリーダーに必要な知識や技能を身につけ、グローバルな見方や考え方で課題に主体的に向きあう人間性等を培います。

探究的な学び

課題を見つけ、その解決に向けた活動で、物事を俯瞰し、異なる分野の知識を結びつける力を身につけます。

協働的な学び

多様な個性を生かした対話と協働を通して、他者と意見や考えを交わし思考を深め、他者を認める寛容さを育みます。

教育目標

全人教育を目指し、知・徳・体を錬磨し、次代を担い、人類に貢献できる、志高く有為な人材を育成する。

教育方針

- 個性を伸長する。
- 知性と情操と実践力を養う。
- 自主自律の精神を培う。
- 未知の領域に果敢に挑戦する高い志を育てる。
- 真理と正義を愛する、質実にして真摯な人物を育成する。

育てたい生徒像

- 絶えず未知の事柄に関心を持ち、問いを立て、課題解決に向けて粘り強く探究できる生徒。
- 多様な他者と想いや考えを交わし、よりよい社会の実現に向かって協働できる心の豊かな生徒。
- 何事にも主体的にアクションを起こし、自己成長をめざして困難や逆境にも挑戦し続ける生徒。

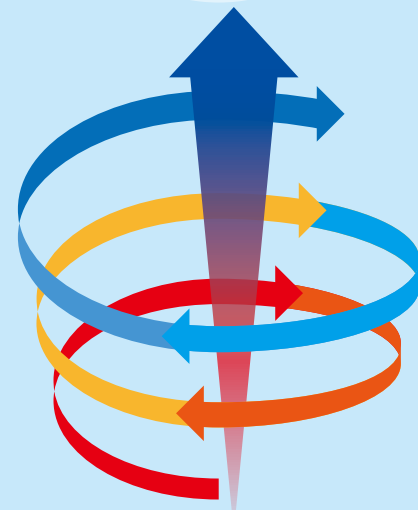
探究による安積の学び

生徒の興味・関心に応じてテーマを設定し、自ら見いだした課題を探究・発表します。

高校 スーパーサイエンス SS 探究

複雑な社会課題の
探究に挑みます

「高度なリサーチ力」
「課題解決スキル」
「プレゼンテーション力」



中学校 アサカアドバンス AA 探究

探究の基礎を
身につけます

「学び方を学ぶ」
「本物体験」
「本質にせまる」

教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
中学1年		国語 4					社会 3		数学 4.7 (+0.7)			理科 3		音楽 1.3	美術 1.3	体育 3	保健 3	家庭 2	技術・ 2		英語 4.7 (+0.7)		特別の教科道徳		学習の時間 2 (+0.6)	総合的な 学習の時間 2 (+0.6)				
中学2年		国語 4					社会 3		数学 3.5 (+0.5)			理科 4		音楽	美術	体育 3	保健 3	家庭 2	技術・ 2		英語 4.5 (+0.5)		特別の教科道徳		学級活動	学習の時間 3 (+1)	総合的な 学習の時間 3 (+1)			
中学3年		国語 3					社会 4		数学 4.5 (+0.5)			理科 4		音楽	美術	体育 3	保健 3	技術・家庭 1		英語 4.5 (+0.5)		特別の教科道徳		学級活動	学習の時間 3 (+1)	総合的な 学習の時間 3 (+1)				

一般的な中学校の授業時数(標準時数)より過当たり2時間多い31時間を設定しています。このことにより、中学校の学習内容にじっくり取り組み、確実な定着を図ります。また、学んだことを使って自ら見いだした課題の解決に向かうことで、思考力や実践力等のスキルを獲得します。

数学

実生活と関連付けることで興味を引き出し、数学の基本的な概念について考える時間を多く設定します。また、複雑な問題に対する計算力を確実に定着させ、物事を抽象的に捉えて数理的に思考する洞察力や論理的な推論を展開する思考力を身につけます。

英語

中学校英語を深く学びながら基礎・基本の確実な定着を図ります。さらにプレゼンテーションやエッセイなどの表現活動を多く取り入れ、英語の発信力を養います。また、ALTとの活動を通して、4技能「読む・聞く・話す・書く」の向上を目指しながら、英語に親しむ態度や日常生活における実践力を高めます。

総合的な学習の時間

日常生活や社会課題の中から問いを見だし、探究するプロセスを学びます。校内の活動だけでなく、校外へ出て体験をしたり、外部講師・機関とつながったりする機会を多く設けます。現役医師、金融関係者、情報技術企業からの講話、ディープラーニングなど

学びの
深化と
進化

先取り学習から「深掘り学習」へ

～次世代の福島・日本・世界を牽引する
トップリーダーを育成するために～

県立安積中学校では、生徒の「なぜ?」という好奇心を全教科で大切にしながら、教材の活用や対話的な活動などを通して「ワクワク」「ドキドキ」する学びを行います。①「知る」こと(具体)と②「考える」こと(抽象)を行き来することで、わかったときの喜びと新たな好奇心を生み出し、主体的な学びの連鎖の中から本質の理解へと誘い、未知のものへ応用できる③「使う」(創造的活用)力を授業だけではなく、すべての教育活動で育みます。

